

こと だま ひやく せん

国語 言霊百選

天沼中学校 ▶ 国語 全学年

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

『言霊百選』というテキスト(国語に関する名文・名句が書かれたテキスト)を使って、生徒たちが取り組む学習は、暗唱して検定を受けるという流れで行われており、そのサポートを依頼されました。朝学習の時間に年間約35日行われる言霊検定の検定員として支援しています。また、言霊検定のことが新聞等、複数のメディアに取り上げられ、講談社から『ことだま百選』が出版の運びとなりました。

■ 学校からのコメント・・・

言霊百選の検定は、活気があるとともにとても緊張感がある場面です。生徒が必死になって暗唱する姿は、検定員の皆さんにとって、新鮮で微笑ましい姿のようです。大人と生徒が真剣に交流する一場面になっています。



国語 能楽ワークショップ

西宮中学校 ▶ 国語・音楽 3年生

● ガスト講師・協力団体等: シテ方金春流能楽師 林美佐氏、シテ方金春流能楽師 辻井八郎氏(重要無形文化財保持者)

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

「日本の伝統的な「能」を味わいたい。できれば国語科・音楽科の共同授業として実施したい」という依頼。そこで能楽伝承に積極的に取り組んでいらっしゃる、金春流林美佐先生にお願ひしました。授業の内容、実施方法などの打ち合わせ、実施にあたっての準備等協力しました。初めての授業内容なので、効率良くかつ食い違ひのないように、講師それぞれの方にまめに打ち合わせの時間を設けるようにしました。

■ 学校からのコメント・・・ 西宮中の教育活動を強力に支えてくださる頼もしい存在、それが、「共育」。地域との架け橋となり、特別授業の講師手配などまさに「地域と共にある西宮中」は、共育の賜物です。



体育 基礎技術を習得する

向陽中学校 ▶ 体育 1・2年生

● ガスト講師・協力団体等: 向陽スポーツ文化クラブ

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

体育科からテニスの基礎技能習得のために、知識や技術を持っている指導者にサポートしていただきたいと依頼がありました。日頃から協力関係のあるスポーツクラブにお願ひし、指導をサポートしてくれるボランティアも確保しました。天候に左右されるので日程がずれることもあり、教師との打合せをまめに行っています。

■ 学校からのコメント・・・ 大人が不足しているためコート3面を活かした練習がスムーズではありませんでしたが、ボランティアの方のおかげで見学している時間がなくなりました。生徒は真剣にボールに向かい合い基礎技術の習得に取り組んでいます。楽しく学びながら時間が過ぎていくようです。

英語 英語サポート

阿佐ヶ谷中学校 ▶ 英語 全学年

● ガスト講師・協力団体等: 学生ボランティア(青山学院大学ゼミ学生)

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

一人一人をサポートして、全員が理解を深めることを目標に、学生ボランティアに協力してもらっています。大学のゼミとのつながりは10年以上続いています。阿佐ヶ谷中学校に学校・地域コーディネーターが配置になる以前から行っている活動です。授業のほかにもいろいろな場面で学校に関わってもらえるよう声掛けをしています。

■ 学校からのコメント・・・ 個別支援ができる体制が整い、授業がスムーズに行えるので、助かっています。

音楽 和楽器箏についてのお話と実技演奏、指導

宮前中学校 ▶ 音楽 1年生

● ガスト講師・協力団体等: 東京芸術大学講師の方など

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

「音楽の授業で学ぶ、日本の伝統楽器(箏・尺八・三味線・太鼓)。専門家による演奏指導をしていただく機会を与えたい」との要望。箏の専門的指導者に来ていただくことになりました。講師や授業補助のサポーターの手配、授業補助、楽器の運搬のお手伝いを行いました。授業では、箏を並べて生徒がかわるがわる弾くため、サポーターとして加わり、準備や、全員の様子を把握するように努め、講師の補助をしました。

■ 学校からのコメント・・・ 正座の経験が少なくなっている生徒が、専門家の手ほどきを受け、生田流の四角い爪をつけ、箏の演奏に取り組みました。おっかなびっくり弦をつま弾いていた生徒も的確で丁寧な指導を受けることで、徐々に姿勢も音色もしっかりしてきました。日本の伝統楽器にふれる良い機会となりました。

**家庭** 保育体験授業

井草中学校 ▶ 家庭 3年生

● ゲスト講師・協力団体等：地域の生後半年ぐらいの乳児とそのお母様 25組

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

お母様方へのインタビュー・赤ちゃんとのふれあいで乳幼児期に発達する能力を学習します。生命の不思議さ・力強さ、成長の素晴らしさを知り、子育ての喜びや苦労、家族の役割などについて関心を広げていきます。ちょうど良い月齢の赤ちゃんにきていただくために地域の保健センター・児童館へ協力依頼。赤ちゃん計測日や子育て交流日にお邪魔し、お母様方に授業の説明を講師のお願いをしました。



■ 学校からのコメント・・・ 毎年、学年で約30組のお母さんと赤ちゃんに協力していただいています。赤ちゃんが登場すると中学3年生の表情が一変して柔和になり、赤ちゃんの発する生命の不思議さ・力強さを実感。多感なこの時期、親への感謝や親子関係を考える良い機会になります。

家庭 赤ちゃんとのふれあい体験

高井戸中学校 ▶ 家庭 3年生

● ゲスト講師・協力団体等：上高井戸児童館・高井戸保健センター

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

「中学3年生対象に開催している赤ちゃんとのふれ合う体験を年2回行い、一度来てくれた赤ちゃんが歩くようになり、成長していく様子を実感させると共に、命の大切さを伝えたい」との要望を受け、ご協力頂ける親子の方々を募集し、保健センターと児童館との連絡調整をしました。安全に授業を行うためのサポートや、アンケート回収などを行いました。昨年の反省をもとに、今年度は、極力直接母子と中学生がふれ合える状況を目指しました。

■ 学校からのコメント・・・ 支援本部

の仲介により本事業の発展が叶いました。体験を年2回実施し、半年後、よちよち歩きができるようになった赤ちゃんと再会します。この体験は中学生に多くのことを学ばせてくれます。

**総合** 地域美化清掃

泉南中学校 ▶ 総合 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：PTA

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

総合学習の時間に通学路などの清掃ボランティアを行いました。地域との関わりを通して、大人への成長に向けてよりよい経験となると思います。その際に、生徒がグループに分かれて校外で活動するため、PTAと支援本部で生徒の安全管理等を行っています。地域清掃の日程に合わせ支援できる方を募集し、実施しました。生徒の安全を守るため、生徒への声掛け等を行うことで地域の方々とも交流することができました。また、外での作業となるため、天候により中止となる場合は早目に連絡できるよう心掛けました。

■ 学校からのコメント・・・

本校では、ボランティア活動を大切にしています。保護者をはじめ、支援本部の方々にお手伝いいただきながら、生徒たちは安心して、地域の美化活動に参加することができました。また、地域の一員としての自覚を促すこともできました。

**総合** 共に生きる～スペシャルオリンピックスを知る～**総合** 「お仕事見本市」働く人の話を聞く会

中瀬中学校 ▶ 総合 1年生

中瀬中学校 ▶ 総合 1年生

● ゲスト講師・協力団体等：細川佳代子氏
スペシャルオリンピックス日本・東京事務局(アスリート、ファミリー、ボランティア)

● ゲスト講師・協力団体等：建築設計士、学校事務、米穀商、アロマセラピスト、警察官、農家、路線バス運転手、看護師、給食従事者

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

SO(スペシャルオリンピックス)の授業を通して、福祉への関心を高め、命の大切さや思いやりの気持ちを養う、障害のことを知ることで、共生の意識を高めることを目的に授業を提案しました。SOの取組、ボランティア・ファミリーの話、細川佳代子氏講演、SO体験授業を4回に分けて行っています。障害者の方々気持ちよく参加してもらえるように気を配り、体験当日は保護者にもお手伝いいただくことで、大人が理解する機会にもなっています。



■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

いろいろな職業の方のお話を直接伺い「働くこと」への知識と理解を深めることが目的。少人数で多職種の話を行うことで、より関心を高める授業を提案しました。日本職業分類に従い8種類の職業の方を講師にお招きし、お話しいただいています。9名の講師の方の日程調整や、生徒が職業について理解しやすいように支援本部で写真等の掲示物を作成しています。事前に生徒の質問を講師に送付し、質問をふまえたお話をいただいています。



■ 学校からのコメント・・・ 9人の方の話を聞き、働いている人の思いを受けとめる2時間は、生徒たちにとって貴重な体験です。インターネットや本ではなく、人と人が直接顔を合わせて行う問答は、学びの原点ではないかと思えます。

総合 福祉体験(土曜授業)

荻窪中学校 ▶ 総合 1年生

● **ゲスト講師・協力団体等:** 視覚障害者総合センター、手話ダンスサークルこでまり、ケア24善福寺、アビリティクラブたすけあい、外出支援相談センターもび〜る、プライムサービス

■ **先生からの依頼と学校支援本部の活動...**

「さまざまなハンディキャップをお持ちの方から話を聴いたり、疑似体験などを行うことで、それぞれの立場の理解を深め、交流を通して互いを知る機会としたい」という依頼。地域で実際に福祉事業を営んでいる事業所や、活動をしている団体にゲストティーチャーを依頼しました。学校との打ち合わせに出席し、事前準備や当日必要な物品を手配。また当日の受付・接待・見守りやサポートなどを保護者と協力してコーディネートしました。



■ **学校からのコメント...** 実際に支援が必要な方々に接して、どのようにしたらよいのか多くの生徒が戸惑いをみせていました。これだけたくさんの皆さんのご協力で実体験ができることは、貴重な財産となります。

総合 「かかわり」と「つながり」(土曜授業)

荻窪中学校 ▶ 総合 全学年

● **ゲスト講師・協力団体等:** 学校運営協議会、同窓会、PTA

■ **先生からの依頼と学校支援本部の活動...**

コミュニケーション力育成のための言語活動(非言語活動も含む)の取組です。学校運営協議会、同窓会、PTAなどへの呼びかけでゲストティーチャーを40名募集。7~8人のグループで円卓ボードを囲みコミュニケーションをとります。近隣の方々との交流は相互の理解を深め、地域に見守られていることに気づくことをねらいとしています。

■ **学校からのコメント...** コミュニケーションタイムの前に生徒が行った学校紹介のプレゼンでは地域の方々に、一方、PTA、学校運営協議会、支援本部、同窓会などによるプレゼンでは生徒にと相互に理解を深めることができました。スムーズにコミュニケーションがとれていました。



総合 野菜の栽培と収穫

■ **先生からの依頼と学校支援本部の活動...**

「野菜を育てるための基本的な知識を身につけ、自分で栽培、収穫し食すことで、食を支えてくれている人への感謝と、自ら食に関われる実感をおぼわすことを目的にしたい」との依頼。野菜の栽培について農家の方の話を聞き、「土おこし」から指導していただきました。当日一緒に作業も行いました。「日程調整」「何が必要か」「何をしておくべきか」「当日の流れ」など、地域の方、先生それぞれとの連絡調整を何度かして当日を迎えます。

■ **学校からのコメント...**

専門的な知識や植え付けの方法等を聞き、野菜の収穫までにどのような手入れをしていく必要があるのかを考えて栽培に取り組みました。ありがたみや、土いじりが楽しいと感じた生徒が増えました。今後も栽培活動を続けていきたいです。

富士見丘中学校 ▶ 総合・理科 2・3年生

● **ゲスト講師・協力団体等:** 地域の農家の方



総合 マナー教室

神明中学校 ▶ 総合 2年生

● **ゲスト講師・協力団体等:** 西出ひろ子氏

■ **先生からの依頼と学校支援本部の活動...**

職場体験前に、接客にあたって相手も自分も笑顔になれるマナーを身に付けられるマナー教室の実施を依頼。今年度は、障害を持つピアニストの先生をお迎えし、音楽を間に入れることで、生徒も気持ちが途切れることなく最後まで集中して楽しく授業に臨むことができました。授業後には、講師との意見交換を行い、次年度の取組について調整することができました。



■ **学校からのコメント...** ピアノの演奏がとても効果的で、生徒の心をより一層ひきつけることができました。同じマナー教室でもその年々でいろいろな取組をするのは楽しいと思います。

総合 江戸しぐさを学ぶ

神明中学校 ▶ 総合 2年生

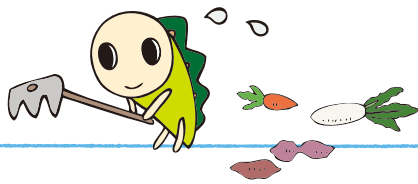
● **ゲスト講師・協力団体等:** 辻川牧子氏

■ **先生からの依頼と学校支援本部の活動...**

生徒会で活動しているいじめに対する取組や修学旅行で学習した日本の古典芸術のもととなる江戸しぐさを、実例を聞きながら学習します。主に、講師と学校の日程調整、教室確保と備品準備。講師の方の他での取組やこれまでの活動を教えていただき、保護者の参考となる内容はPTAにも情報提供を行いました。

■ **学校からのコメント...** 担任の先生に協力してもらって江戸時代のマナー(傘かしげや席の譲り合い)を実演してもらうことで、生徒の心に残る授業になっています。このことが、日々の生活に活かされるとさらに充実した友人関係や家族や周りの人との絆の構築につながると思います。





総合 職場体験サポート

東田中学校 ▶ 総合 2年生

● ゲスト講師・協力団体等： 杉並区内事業所

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

学校から職場体験先事業所の新規開拓の依頼を受けたことをきっかけに、新規事業所探しだけでなく全協力事業所を対象とした学校との関係維持及びより良い職場体験の実現を目的としたサポートを支援本部が行っていくことを提案しました。生徒が通える範囲での新規事業所の開拓を行い、職場体験前後に全事業所へ支援本部員が訪問。体験前には依頼事項・注意事項の確認を行い、体験後には体験時の様子・問題点・要望事項などをヒアリングし、学校へフィードバックしています。



■ 学校からのコメント・・・ 職場体験は、社会人への扉を開き、中学生と地域と社会をつなぐ取組でもあります。支援本部、地域の皆様方に支えられて、今年も大きな成果を上げることができました。

総合 卒業生のお話を聞く会

井荻中学校 ▶ 総合 3年生

● ゲスト講師・協力団体等： 井荻中学校卒業の高校生(1年～3年生15名)

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

卒業生に各クラスの班に入ってもらい受験のことや高校生活のこと、中学3年生へのアドバイスなどを話していただき、3年生の今後の進路の参考にします。卒業生に(保護者)に依頼し、高校生のゲスト講師を集めました。

■ 学校からのコメント・・・

3学年は新しい教員が多いので、卒業生とのつながりがある支援本部の方に講師依頼をしていただきありがとうございます。生徒も年齢の近い卒業生から受験についての生の声を聞くことができ、大変意欲的に参加しており、実りのある行事になりました。



総合 働く人の話を聞こう

～職場体験事前学習～

宮前中学校 ▶ 総合 2年生

● ゲスト講師・協力団体等： 様々な職業の方々(弁護士、獣医、女優、編集者、建築家など)8名

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

第2学年では11月下旬に5日間の職場体験学習を実施します。事前学習の一環として「働く人の話を聞く会」を開催し、様々な職種の方に来ていただきます。生徒の希望する職種など、多方面の人材の紹介を依頼しています。生徒の興味のある職業の講師の手配、当日までの準備や当日の補助を行っています。当日は短い時間の中で、講師の方々にスムーズにお話しいただけるように配慮し、準備、パソコン・プロジェクターの手配などを行っています。



■ 学校からのコメント・・・ 8つの職種の方に来ていただきました。職業選択の理由、仕事内容や生きがい、希望する生徒へのメッセージ等、いくつもの質問に答えていただき、時間が足りないほどです。生徒はローテーションで2名の方のお話を伺うことができますが、他の方からもお話を伺いたいという感想もあり、有意義な時間となりました。

部活動 部活サポート

泉南中学校 ▶ 部活動 全学年

● ゲスト講師・協力団体等： 地域ボランティア

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

職員会議等で顧問の先生が出られない時間は、生徒は再登校をして部活を行っていました。しかし、再登校時の安全等を考えると学校内で時間を過ごせれば、少しでも安全確保が出来る、という学校からの要請で実施することになりました。学校からの日程に基づき、お手伝いできる方の確保を行いました。

■ 学校からのコメント・・・ 現在、在籍している生徒の中には、通学にかかる時間が30分以上の生徒が数名います。再登校をさせることで、生徒の安全・時間的な問題が生じないよう、「部活サポート」を依頼しました。生徒たちは、図書室を利用し、部活動が始まるまで、自習や読書等を行い、有意義な時間を過ごすことができました。

部活動 2014年「ラストサマーライブ」

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

吹奏楽部の演奏を地域の皆さんに聞いていただくと共に、地域の方と音楽を通して交流できるようなプログラムを構成。プロとコラボレーションしたりすることは生徒にとっても良い体験となり刺激になります。吹奏楽部には日頃の成果を發揮できるように、支援本部がライブの準備や運営など行っていきます。ポスターやチラシ作り、配布をするほか、当日は会場作り、受付、プログラム配布、来場者の誘導など、当日の運営全般を担います。吹奏楽部の顧問の先生と学校、出演者との連絡、調整を行い、それぞれの意向を聞き、なるべく実現させていくように努めました。

■ 学校からのコメント・・・

生徒たちは夏休みのコンクールが終わった直後から練習をしています。プロ級のコーラスの方々と共に、地域や保護者の方々に聴いていただくことは、豊かな情操を育むことにつながります。運営全般を請け負って下さる支援本部の皆さんのご配慮に感謝しています。

高南中学校 ▶ 部活動 吹奏楽部全学年

● ゲスト講師・協力団体等：

男声アカペラグループ BBQ & Green Fields



部活動 野球の技術の向上と礼節の育成

東原中学校 ▶ 部活動 東原中および周辺中学校の野球部員

● ゲスト講師・協力団体等：早稲田大学野球部 小笠原流礼法総師範

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

野球部の部員が少なくなり日常練習も難しく、区の大会への参加もままならない状況になってきました。その中で周辺の中学の野球部員との合同練習の問いかけが顧問教諭からあり、支援本部で計画を作りました。指導者は早稲田大学野球部に依頼しました。中瀬中、杉森中、東田中、杉九小等約50名が集合し、早稲田からは選手20名が来校しました。

■ 学校からのコメント・・・ 公立中学校の部活動がやや衰退傾向にあり、東原中学校でも苦心しています。学生が指導してくれることは年齢的にも近いものがあり生徒にとってはいい経験になります。勝負に勝つだけではなく相手への尊敬や思いやりも重要視していることから生徒へのいい影響も期待できます。



整備 図書支援活動

富士見丘中学校 ▶ 図書 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：地域の図書ボランティア

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

10年前、図書環境の充実を図りたいという学校と、当時のPTAの思いが一致して始まった活動を、支援本部発足時に引き継ぎました。各学年のフロアに設置した本棚の整理整頓を行い、年度の終わりには蔵書点検・新しい本の補充をします。コルクボードの掲示物は、タイムリーな話題(世界遺産・ノーベル賞・生誕〇年など)や大切にしたい季節の行事、そのいわれなど、中学生にぜひ知っておいて欲しいことを毎月工夫しながら、楽しく活動しています。

■ 学校からのコメント・・・ 各学年フリースペースの本棚には学年に合わせた図書が揃えられ、季節や時事の掲示も工夫して頂いて、生徒たちの読書環境が整えられています。教員や保護者だけでなく、様々な地域の方が学校に関わって下さっていることは、生徒たちにとっても大切な事だと思いを感謝しています。



整備 井草 図書サポーター

井草中学校 ▶ 図書 全学年

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

“井草 図書サポーター”は、毎週金曜日15時～16時30分 図書室開室のお手伝いと学校司書が研修等で不在時に代理で本の貸出し業務を行います。その他に本のカバーリング、書架移動、蔵書点検(図書の手伝いを通し情報交換)などもします。図書室開室時、本の貸出し業務の他に季節に応じて図書室をディスプレイし生徒たちと四季を楽しみます。階段の踊り場は、美術部の生徒たちと一緒に飾り付けをしています。

■ 学校からのコメント・・・

図書室のディスプレイは読書教育と深いつながりがあります。見たり、触れたり、匂いをかいだり・・・感受性や想像力が養われます。「感じる心」は読書に最も大切なものだと思っています。



整備 図書館ボランティア

松ノ木中学校 ▶ 図書 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：保護者・地域の方々

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

学校司書からの依頼による図書館の環境整備(書架掃除・本の修理、書棚のディスプレイ)、学級文庫の選書、学校司書不在時のカウンター業務等。親の目線で図書活動を見守り、お手伝いしています。生徒にとって、図書館が居心地のよい場所となり、「読書」に親しめる環境作りを目指しています。活動が円滑に行われるよう掃除用具や修理のための文具を用意したり、ディスプレイのためのアイデアの提案・資料・飾り付け用の小物等も用意します。事前に学校司書の先生に必要なお手伝い内容や日程を確認し、登録しているボランティアメンバーに連絡します。ボランティアが無理なく参加できるように配慮しながら日程・仕事分担等を調整します。

■ 学校からのコメント・・・ 学校司書は、一人で何千冊もの蔵書管理・図書館の環境整備を行う仕事なので、お手伝いはとてもありがたいです。ボランティアの方々による季節ごとのディスプレイは、職員や生徒たちにとっても好評です。



整備 学校内の花壇の整備

東原中学校 ▶ 環境向上活動 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：同窓会

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

校内の花壇および植栽の手入れは時間的な面から年間を通してはなかなかできません。生徒の自主的な発案を生かし支援本部で対応してもらえないか、との依頼でした。花壇の手入れは大変で特に夏季の水やりは重労働です。生徒会や同窓会と連携し年間を通して各種の作業を行うことを提案しました。年間の計画を決めて、春(土の開墾)、夏(雑草抜き、種植えと水やり)、秋(鉢への植え替え、野菜の収穫)、冬(枯れ草の除去、土の掘り起こし)等の作業をします。

■ 学校からのコメント・・・ 校内環境の改善は整理整頓にもつながり生徒の精神的な安定に寄与できることが見受けられます。また夏季の水やりで緑を育成することがいかに大変なことかも理解でき、あたりまえに感じていたことが多くの人々の努力で成り立つことを理解します。



放課後 学習支援「高中ゼミ」

高井戸中学校 ▶ 英語・数学など 全学年

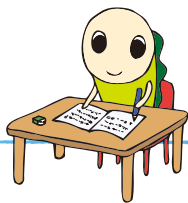
● ゲスト講師・協力団体等：地域のサポーター

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

学校とは違ったアプローチで生徒の学習意欲を高める取組です。生徒たちが興味を持って学習に望めるよう、具体的なテーマに沿った学習支援を行います。講師の確保、生徒の要望調査、講義に必要な資料の準備などを行い、当日もサポートします。学校の要望を受け、講師の先生方の得意な分野を活用するため密に話し合いをし、生徒の希望も取り入れつつ企画してきました。

■ 学校からのコメント・・・ 学習支援について今年度より学力向上策をあらため、基本の定着は学校が責任をもち、支援本部は発展的内容を中心とした「高中ゼミ」を開設することになりました。生徒からも好評です。



**放課後 放課後の居場所**

向陽中学校 ▶ 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：地域ボランティア

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

職員会議等で先生がいない時に部活動までの時間を放課後の居場所(ひまわりクラブ)で見守ってほしい、面談の時などをお願いしたい、との依頼がありました。放課後の居場所づくりで使用していた教室が支援本部室となり、そこで部活動までの生徒が思い思いの過ごし方ができるようにしています。勉強や研究発表の準備ができるよう文房具を、また、カードゲームや囲碁、将棋などもできるように準備しています。一部屋で間に合わない時は会議室も使用しています。

■ 学校からのコメント・・・ 部活再登校などの生徒の負担が軽減され、校内にいて安全も確保されているので助かっています。

**放課後 1年・2年放課後補習教室
(通称「高南プラン」)**

高南中学校 ▶ 英語 1年生・5教科(国語・数学・英語・理科・社会) 2年生

● ゲスト講師・協力団体等：地域でNPO活動や英会話教室を開いている元教師・高南中の卒業生(大学生アシスタント)

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

1年生は授業形式で、講師による英語の基礎指導。2年生は自習形式で、質問や課題解決に対し個別に大学生学習サポーターが対応。支援本部は、講師の補助や受付、生徒の見守り、部屋の環境整備を行います。水曜日の放課後15時～16時まで年間で20回と決めて実施しています。学習に意欲を持ち継続して参加できるように、皆勤(20回参加)した場合は学校から「高南プラン皆勤賞(正賞および副賞)」を贈呈しています。

■ 学校からのコメント・・・ 職員会議や教員の研修会を実施している水曜日の午後ということで、生徒は、補習教室終了後、そのまま部活動に参加でき、時間を効率的に使うことができます。学力向上という経営方針にも資する大変有意義な取組です。

**放課後 夜スペ**

和田中学校 ▶ 英語・数学・国語 3年生

● ゲスト講師・協力団体等：私塾

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

希望する3年生を対象に、校内に私塾の講師が入り、進学塾を開設しています。開催前後の登下校の安全管理、開催中の立ち会い、講師の手配をしています。

■ 学校からのコメント・・・

夜スペは、和田中が塾に軒先を貸しているわけではありません。英語科と夜スペ講師が指導内容を相互補完できる指導内容の改善を図っていきます。さらに学級担任が加わって、個々の生徒の実態に合った指導を進めていくことで、理想の教育を目指します。

**放課後 英語Sコース**

和田中学校 ▶ 英語 2年生

● ゲスト講師・協力団体等：私塾

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

英検3級より上の級の合格を目指すということ、活動のねらいとしています。協力団体の年間スケジュールの調整をしています。

■ 学校からのコメント・・・

主体的に活動を進める本部が、盤石の学校支援体制を築き上げています。今後の発展の鍵は、本部と教職員の効果的な連携です。相互の情報交換から始まり、要望、改善の話し合いを深めることにより、相乗効果が期待できます。和田中は、1+1=3を目指します。

**放課後 地域のみんなで読書会**

井荻中学校 ▶ 放課後の読書活動 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：井荻中学校司書

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

読書を通して中学生が地域の方との交流ができるようにしたい。同じ本を読んで感想を語り合うことでいろいろな考えがあることを知り、読書を深めるきっかけとしたい、定期的に開催したいというご要望でした。お知らせを地域の方に配布、近くの図書館に置いていただけるようお願いしました。進行、本の選定を支援本部員がするようになり、作家の他の作品や、同じテーマの作品を参考資料にすることもありました。テーマに関連した新聞記事などがあれば資料として印刷配布し、読書が深まるように工夫しました。会の終了時に参加者の皆さんに感想を書いていただき、今後の参考にしました。

■ 学校からのコメント・・・

この読書会は、学校を基地として異年齢の人々が集う空間を作っています。本校で実施している「全校読後交流会(課題図書について意見交流をする取組)」に併せて、この読書会でも地域の方々との意見交流ができるので、中学生にとっていろいろな考えに出会い、視野を広げるためのよい刺激になっています。



放課後 放課後補充学習教室

杉森中学校 ▶ 全学年

● ゲスト講師・協力団体等： 地域の方・卒業生

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

英語・数学の2教科について、放課後の時間を活用し、基礎・基本の学力の定着を図りたいということで、教科ごとに週1回地域の方に指導をお願いしました。講師依頼などのほか、事務連絡を行っています。講師の方がお休みのときなどに対応できるよう、支援本部に登録していただいで対応しています。

■ 学校からのコメント・・・

英語は、週1回程度金曜日の16:00～16:45まで学習。基礎・基本の学力の定着が図れればと考えています。また、数学も週1回程度、火曜日に実施していますが、今年度、新たに地域の講師をお招きし、基礎・基本の学力の定着が図れるよう、展開しています。



放課後 試験前学習会

杉森中学校 ▶ 全学年

● ゲスト講師・協力団体等： 地域の方・卒業生

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

試験一週間前になり、部活動もなくなるので、落ち着いた学習環境を提供したいとの依頼に対して、自分で勉強したい教科を自習し、講師の先生方に見て回っていただく、というやり方を提案しました。生徒へのお知らせ・出欠確認・講師依頼と確保・当日の見守りなどを行っています。また、学習会終了後に質問タイムを設け、講師の方をお願いして時間の足りなかった生徒にも対応しています。講師の方は支援本部に登録していただいでいます。

■ 学校からのコメント・・・ 土曜日の試験前学習会では、生徒たちが落ち着いた姿を見ることができ安心してます。試験前学習会の参加人数が増加して、講師の方々に感謝しています。



放課後 放課後学習教室

大宮中学校 ▶ 数学 全学年

● ゲスト講師・協力団体等： 教職志望の大学生 など

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

数学の学力向上のために放課後学習教室を開催するにあたり、見守りと支援を依頼されました。学校との調整で開催日を決定。講師との日程調整やスケジュール表を作成、管理、学習室の準備をしています。生徒が参加しやすいように学校の行事などを考慮して開催し、声掛けも徹底しました。

■ 学校からのコメント・・・ 生徒誰でもが、分りたいという気持ちを持っています。その期待に応えられる機会を提供できたことはとても大きいことです。生徒たちが講師、支援本部の方々と一緒に学習している姿は、とても微笑ましく見えます。これからも支援をいただきながら、進めていければと思います。

放課後 アフタースクールスタディ

西宮中学校 ▶ 全教科 全学年

● ゲスト講師・協力団体等： 卒業生

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

学力向上拠点実践校ということで、学校からの要望でスタートしました。最初は、基礎学力の定着を図ることを目的に始めました。年数を重ねる中で、部活動と両立しつつ参加もできる効率的な実施内容を学校と相談して運営しています。参加者募集から、学習指導内容プリント作成、指導まで、運営をすべて支援本部が行っています。参加者が多いなか、効率的に効果的に実施できるように常に学校と相談して実施しています。

■ 学校からのコメント・・・ 定期考査1週間前の放課後、自学自習する生徒で多目的室は大繁盛！アフタースクールスタディによる学力の底上げとご支援のおかげで生徒たちの学習意欲は高まり、区の学力調査等でその結果がでています。



放課後 学習習慣を身につける

阿佐ヶ谷中学校 ▶ 全教科 全学年

● ゲスト講師・協力団体等： 学生ボランティア・地域ボランティア

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

生徒の学習習慣が身に付くような場所を作ることできないか、との先生からの依頼を受け、放課後に自習できる場を作ることにしました。学生ボランティア・地域ボランティアが見守りをして、定期テスト一週間前から図書室を開放しています。ボランティアの確保のためにいろいろな方面に声掛けをしています。

■ 学校からのコメント・・・ 家に帰っても、なかなか一人では勉強しないので、このような学習の場を設けることで、より学習の機会が増えています。

放課後 英語道場

松溪中学校 ▶ 英語 全学年

● ゲスト講師・協力団体等： 田中英司氏、山崎和子氏、山田鞠子氏

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

支援本部からの提案です。近隣町会に松溪中学校を支援してくださる方を募るチラシを回覧板で回してもらいました。手を挙げてくださった方がたまたま英語学習面での支援をしたいとのことでしたので、学校長に紹介をして現在に至っています。年度始めに全校生徒向けにチラシを配布。学校行事などを最優先にし講師の方々のスケジュールを調整しながら実施しています。

■ 学校からのコメント・・・ 英語学習は早朝にもかかわらず、休まず遅れず生徒たちは楽しみに毎日通っています。参加者も年々増え、余裕のない教室も生まれてきました。「生徒たちががんばりたいと言えば応援したくなる」と講師の方々から言っていただきます。学力だけでなく、そんな先生方の思いやりが伝わる温かな学習会です。



**放課後** マイルーム松ノ木

松ノ木中学校 ▶ 放課後の自主学習 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：当中学校を卒業した大学生ボランティア

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

支援本部から生徒の学力向上の一助として、年4回の定期考査前の放課後5日間と夏休み最終週の5日間、2時間程度図書館を開放し、学習できる環境作りを提案しました。身近な先輩、卒業生ボランティアにサポートしてもらいます。先生や学校司書の先生とまめに連絡をとり、多くの生徒が参加できる日程を調整。全世帯に向け手紙を作成し、生徒たちを見守ってもらう保護者ボランティアも募集しています。

■ 学校からのコメント・・・ 本校は地域に根ざした学校づくりを学校経営方針の基軸にすえています。そして、その中心となるのが支援本部の活動です。二年前から地域運営学校となり、両輪として機能していただいています。

**その他** アフタヌーン・コンサート

大宮中学校 ▶ 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：元教員ほか

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

音楽を通して地域との親睦を深め、生徒と学校の様子を身近に感じてもらいたいとの依頼。事前打ち合わせ、準備・当日の会場づくりなど行いました。また、コンサートを継続していけるように、近隣の学校へのチラシ配布、地域の方への声掛けなどを行いました。

■ 学校からのコメント・・・ 児童、生徒、保護者、地域の方々を招いてのコンサート。毎年開催し、みなさんが楽しみにしているという言葉聞くにつけ、より一層質の高いものにしていくよう努力しています。中心的な立場として、支援本部のみなさんには御支援をいただいております。心に残り、豊かな気持ちになっていただける機会になっています。

**その他** 東田中学校図書館交流会

東田中学校 ▶ 東田中および杉二小・東田小(4~6年生)

● ゲスト講師・協力団体等：学校司書(東田中・杉二小・東田小)、成田図書館

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

3校連携事業の一つとして、図書館を利用した交流会を提案。小中連携事業として各校協賛体制で行っています。支援本部は事務局として、サポートを行います。本校校長、副校長と連携事業としての目的を確認し、各小学校管理職と打合せを行い目的の共有を図ります。東田中図書館運営協議会を通して学校司書とともに計画を進めました。広報やチラシ作成なども行い、広く周知しました。

■ 学校からのコメント・・・ 小学生の好奇心あふれるまなざし、それを温かく見守る中学生。当日は東田中学校の図書館に小学生、中学生の輝く瞳と笑顔があふれました。読書に関することをとおして、義務教育年代にある生徒たちの感性をみがく行事となりました。

**その他** 天沼倶楽部

天沼中学校 ▶ 全教科 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：学生ボランティア、PTA天沼倶楽部係

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

自校独自の自学自習教材(みんなの学習クラブ)を使った土曜日・放課後学習教室の開催(天沼倶楽部)。今年度からは、全校生徒に提供して朝学習やパワーアップ学習にも使用しました。天沼倶楽部のスケジュールについて、先生方と連絡調整して決定。開催日のボランティア配置やPTAとの連携によるプリントを用意します。学校との相談で、今年度からは全校生徒に利用してもらうことに。教材費に対する理解を得られるよう、PTAに説明を行いました。



■ 学校からのコメント・・・ 年間80回実施されている天沼倶楽部は、5教科の自学自習のプリントを自由に使える贅沢な学習の場です。特に、定期テスト前は教員も顔を出すので会場の図書室は盛況です。自然な教え合い、学び合いの場になっています。

その他 「手習い塾」

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

「自学自習」をモットーに、塾に通えない、家に居場所がない、学習につまづきがある、など悩みを抱えている生徒も通ってくれることを期待して、卒業生・地域の大人が見守り心を育てる塾を提案しました。また、小中一貫校ならではの取組として、小学部高学年(5・6年生)を受け入れ、中学部へスムーズに移行できるよう、基礎学力の定着やつまづきをなくすためのサポートをしました。「目標カード」や、学習のワンポイントアドバイスや先輩からの応援メッセージなど、子どもたちの「やる気スイッチ」を意識して「手習い塾通信」を作成しています。

■ 学校からのコメント・・・

和泉手習い塾の良さは、サポーターの支援を受けながら、中学部の生徒が主体的に静かに集中して学習しているところです。夏休みには小学部の高学年児童も参加し、中学部の生徒の刺激を受けて、学ぶ習慣を身に付けていました。

杉並和泉学園中学部

▶ 学習サポート(算数・数学・英語・国語など)
小学部(5・6年生) 中学部(全学年)

● ゲスト講師・協力団体等：卒業生や地域の方々

